

代々木病院の理念

ヒューマニズムにもとづく医療・介護の実践

くらしと健康

発行 医療法人財団 東京勤労者医療会 1部60円

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-30-7

TEL 03(3404)7661

E-mail address yo_sosiki@tokyo-kinikai.com

友の会会員は会費に購読料がふくまれています。

基調講演を行う東京健生病院の根岸京田院長



2011年度 千駄ヶ谷地区医療安全大会

昨年11月16日、千駄ヶ谷地区医療安全大会を日本共産党本部多目的ホールで開催しました。今大会は、職員の医療安全への感性を高め、患者の権利と安全な医療を受ける権利を守るための研修会という位置づけで行いました。代々木病院の職員を中心に、76名が参加しました。

全日本民医連医療安全委員長の東京健生病院、根岸京田院長による「医療安全の推進のために」というテーマの基調講演では、「これまで、いかに「人が間違えること（ヒューマンエラー）」をな

チーム全体で医療安全に取り組む

くすかが大きな課題であった。しかしそれには限界があり、過誤の原因が必ずしも個人の問題でなく、「コミュニケーション」や「リーダーシップ」、「チームワーク」等の欠如が原因であることもわかってきた。そこで、チーム全体で過誤を防止しようという考えができた。「ヒューマンエラー」から「チームエラー」への発想の転換である。

と説明されました。また、航空事故の例に、これからは、専門的な技術・知識（テクニカル）だけではなく、これを生かす技術（ソフテックニカルスキル）が重要であると強調されました。また、民医連は1950年代から「民主的集団医療」を掲げ、医師をチームリーダーに、チーム医療を実践せられまして、それぞれの職場の



各職場からの報告をきく職員

代々木病院 医療安全管理者 清水健一

「原発ゼロをめざす渋谷共同センター」結成 昼休みデモ行進・放射線測定会を実施

結成総会 開催

原発ゼロをめざす渋谷共同センター（以下、原発ゼロセンター）は11月29日、代々木病院のそばの日本パーティビルにおいて、8団体・27名の参加で、代々木病院の井上均院長を委員長として、結成総会を行いました。各参加団体から、この間の原発廃止の取り組みの報告がされ、「原発廃止の運動は世



原発ゼロ渋谷共同センターの結成総会

昨年3月11日に発生した東日本大震災は、東北地方の太平洋側に甚大な被害を与えました。そして、東京電力の福島原発では人類史上最悪の核の人災とも言わなければならない事故を引き起こしました。原発反対のとりくみが日本のみならず世界でも巻き起こり、渋谷では11月に「原発廃止」の一点で共同できる団体・個人の運動を進め、12月13日の昼休みデモ行進を代々木病院からあかつき印刷までを約150名で行いました。

デモ行進 実施



原発廃止を求めて、昼休みにデモ行進

12月26日、区内3か所（幡ヶ谷第3公園・第2公園・新道公園）で放射線量の測定会を開催し20名の参加しました。結果は年間許容量以下（年間1ミリシーベルト）がほとんどでしたが、極端的には年間許容量以上のところもあり改善の必要なところも見つかりました。

放射線量 測定

公園の滑り台などで測定を行っているところ、小学校低学年くらいの子どもが近寄ってきて「おじさんたちは、ここで何をしているの」と不思議そうに測定器を覗き込んで、子どもで、子どもが安全に遊べる場所か調べているんだよ」と説明をする一幕もありました。



幡ヶ谷での放射線量の測定会

今後のとりくみは、毎月11日を基本に区内の原発廃止の世論を高める宣伝行動と全国的・全都的な統一行動に参加し、随時区内の放射線量測定会を開催し、正確な測定方法を多くの人が出来るようなどりくみ、収集した情報を元に必要な対応を講じて行く事を考え

宣伝行動

2月10日（金）18時〜19時 原宿駅竹下口

千駄の萱

お正月の楽しみは箱根駅伝である。優勝経験が唯一ない、万年シード権争いのチームだった私の母校。2009年「山の神」が8校をこぼす抜き、強豪校といわれるようになった。昨年は21秒差で優勝を逃し、今年こそは「1秒を大切にしよう」とチーム一丸となって挑み、見事完全優勝を成し遂げた。マネージャーを含め、福島県出身者が8人いる東洋大学駅伝部。監督、主将も福島県出身だ。「僕が苦しいのはたった1時間ちょっと。福島の人たちに比べたら、全然きつくなかった」と、主将は故郷へメッセージを送った。取り組みを知り、自分たちの職場での取り組みの参考になったようです。